

# コロナ禍で考える社会資本整備評価のあり方

小池淳司（神戸大学）

## COVID-19後の社会変革

- ・ 「自国第一主義」
- ・ グローバルサプライチェーンの見直し
- ・ 国内農業保護
- ・ 都市部の過密化対策
- ・ これらを実現するための国策「大きな政府」

## 国土交通政策

- 交通事業者への補助政策の充実
- 地方および地域間のインフラ政策の充実
- 長期的国土計画に基づく、地域間格差是正

このような政策実現にむけ

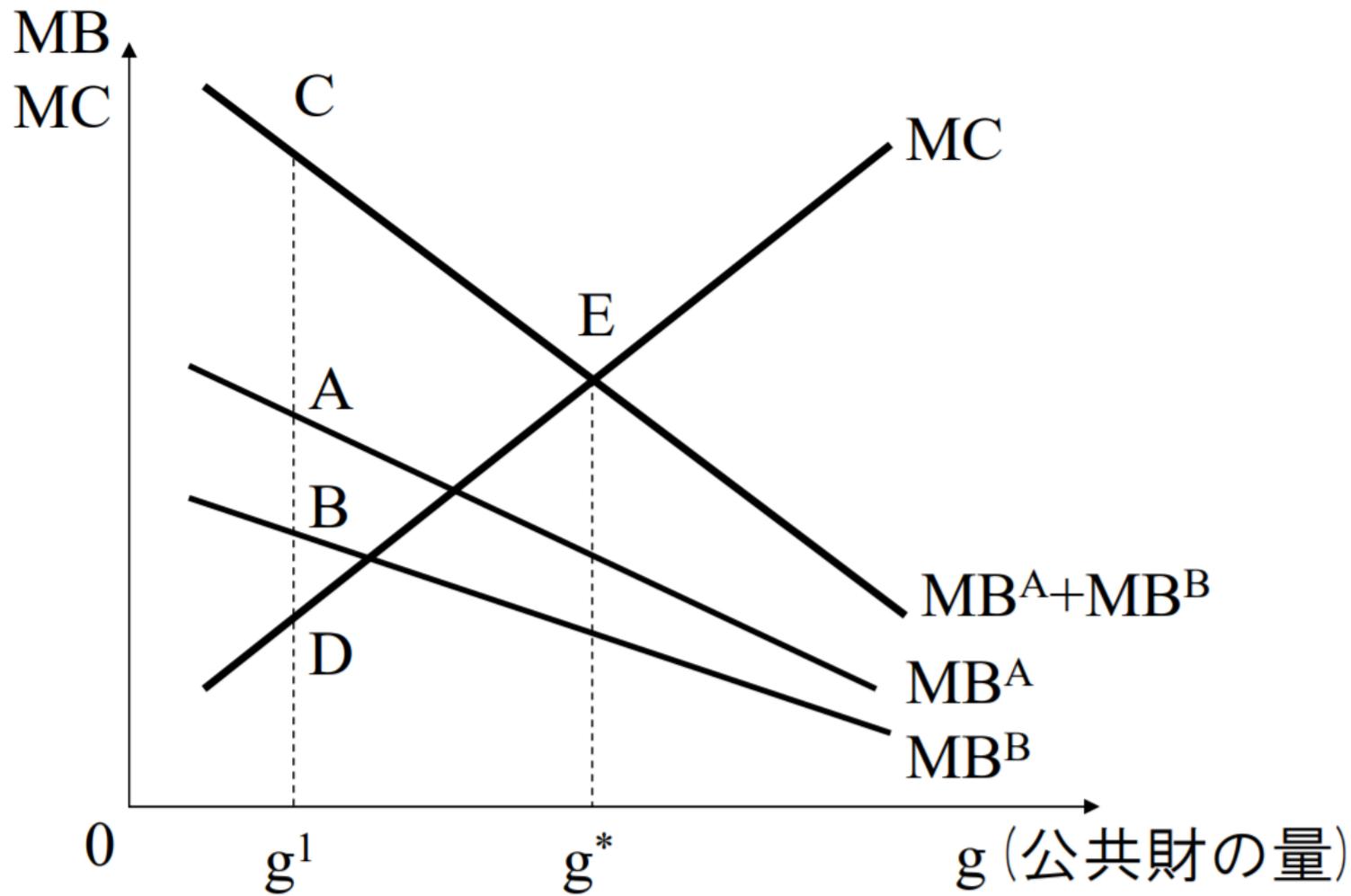
改めて、政策評価を見直す必要がある

そもそも社会資本（インフラ）とは何か？

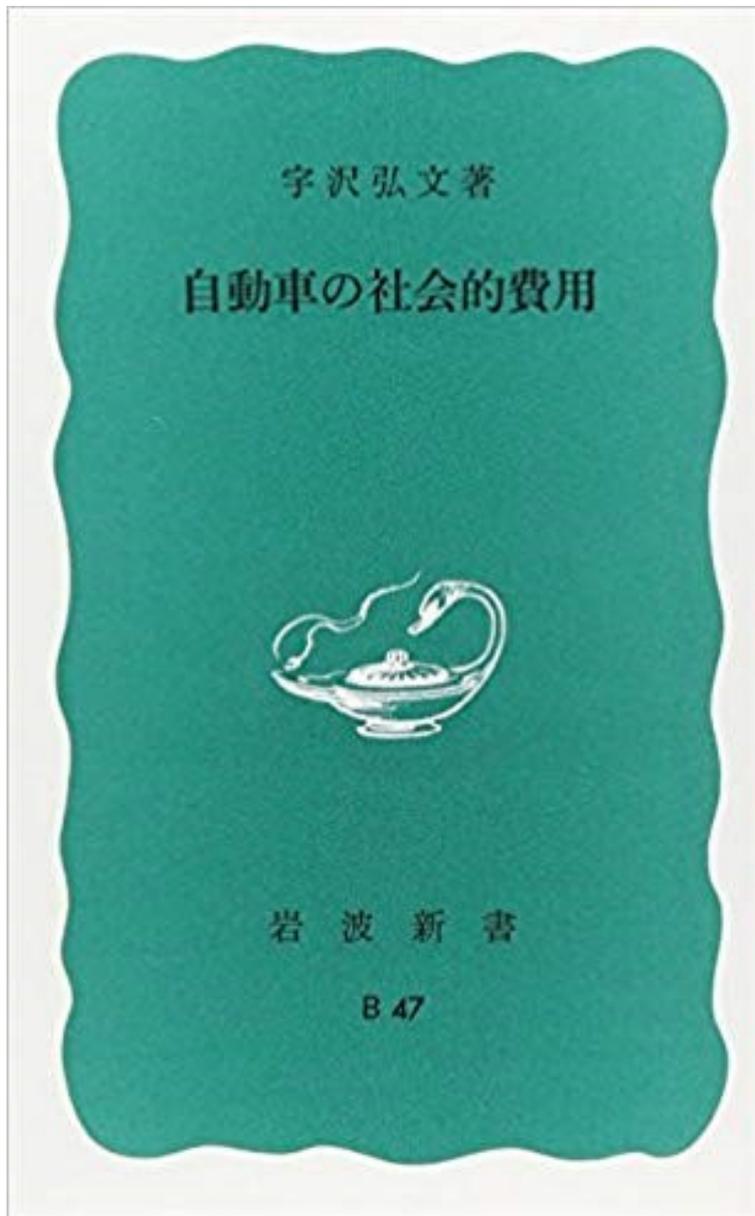
(要件 1) ・ 生活に不可欠な存在

(要件 2) ・ 一人だけでは整備が不可能

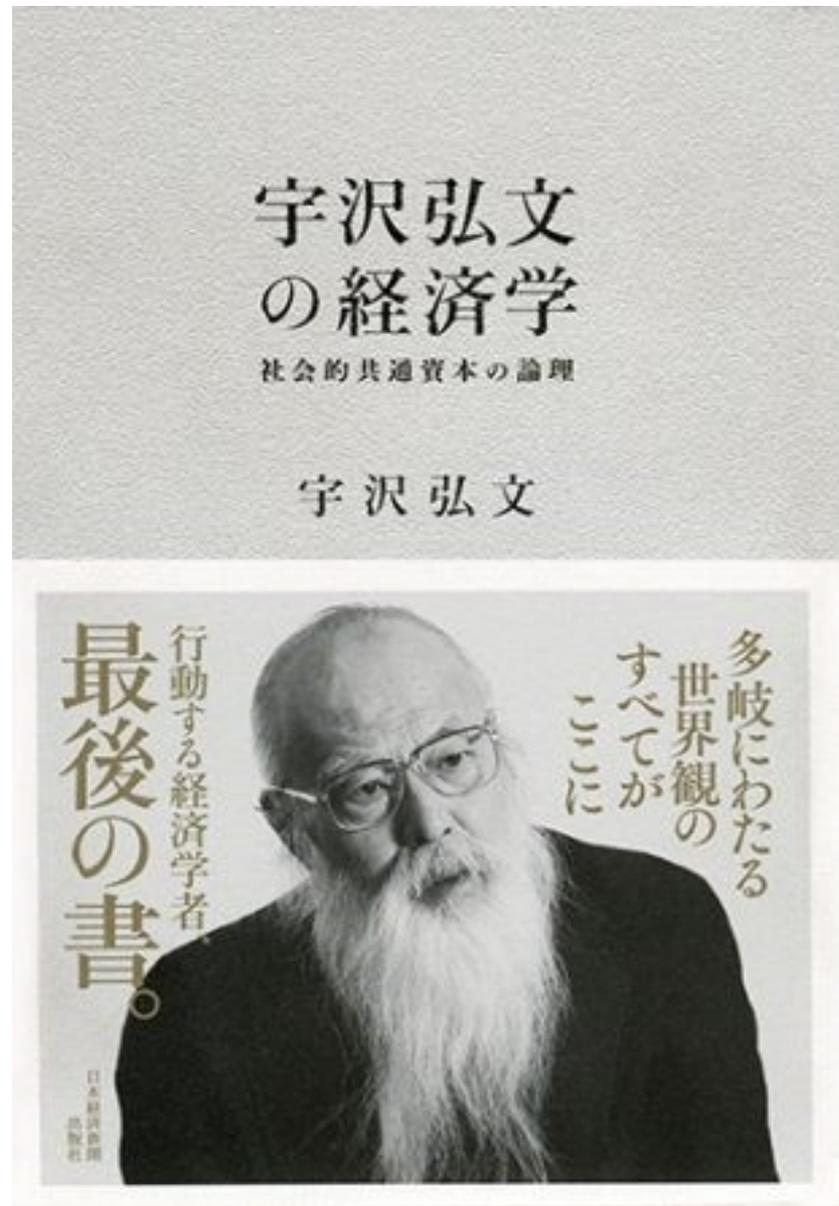
# 公共財の最適(効率的)供給問題 (サミュエルソン条件)



# 宇沢弘文(1928-2014)



(1974)



(日本経済新聞出版社, 2015年) 6

## 宇沢弘文先生の社会的共通資本(インフラ)の供給水準基本原則:

### 市民の基本的権利の確保

- ・基本的権利とは、論理的な演繹を通じては求められない**社会的通念**により規定されたもの。
- ・混雑がある場合は内部化が必要であるが、建設・管理費用に見合う必要はない。

その管理は**職業的専門家集団**によって、専門的知見と職業的規律に従って管理される。フィデュシアリー (fiduciary) の概念、効率性よりも社会的安定性、公正、平等が重要

### 最適蓄積水準:( $\neq$ B/Cのフレーム)

限界効用の測定に関しては、新古典派の厚生経済学が想定しているような全く主観的な性格のものではなく、むしろ、アダムスミスの主張するように、各人が第三者の立場に立った時にどのように感じ、どのような満足感を得ることができるか、を共感 (sympathy) することができるという**同感の可能性**を前提にしたものである。

# 社会資本の役割と評価基準

サミュエルソン流の公共財 → 効率のストック効果

宇沢弘文流の社会的共通資本 → 権利のストック効果

# 不確実な社会での客観的予測可能性

予測

prediction

予定(予想)

anticipation

想像(計画)

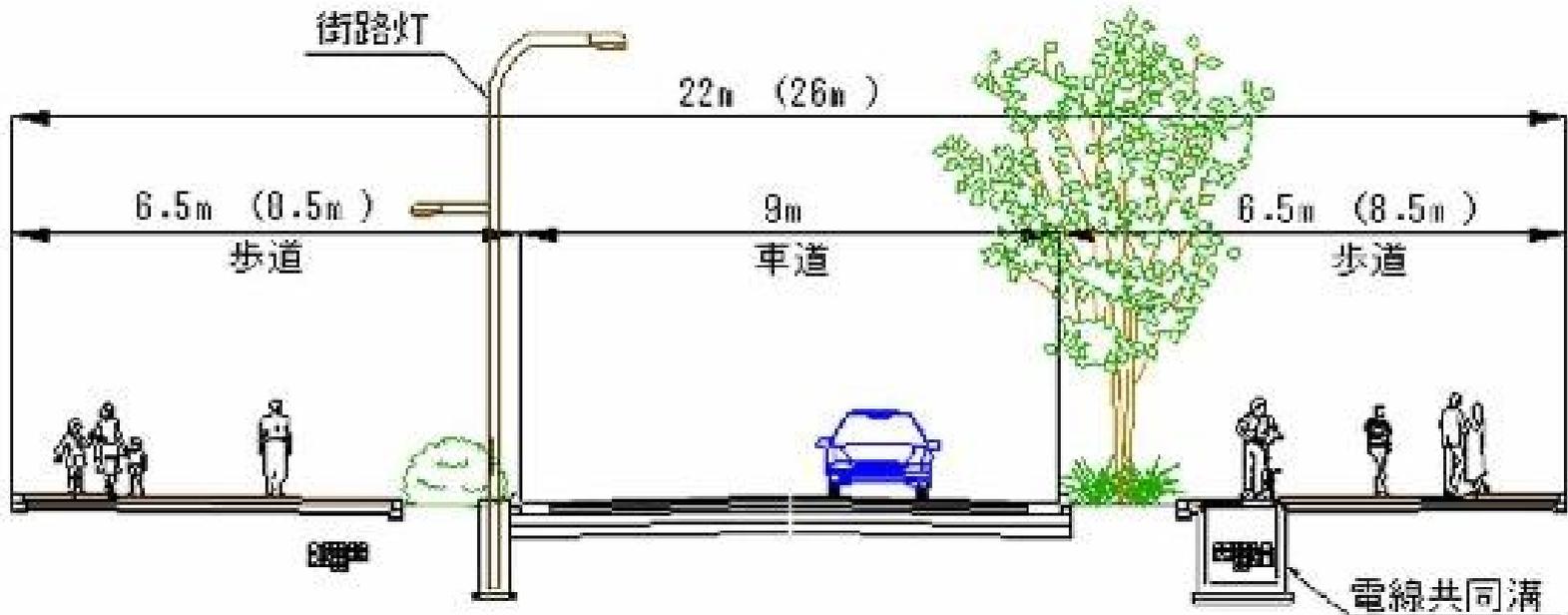
imagination

## 社会資本事業の意思決定手法

	予測（こうなる） <b>prediction</b>	予定（こうする） <b>anticipation</b> <b>imagination</b>
効率のストック効果 <b>Stock Effects for Efficiency</b>	採算性 <b>B/C</b>	<b>Wider Economic Impact</b> <b>With Economic Narrative</b>
権利のストック効果 <b>Stock Effects</b> <b>for Human Rights</b>	国民の基本的 権利の確保 ( <u>雇用・医療・教育・</u> <u>文化</u> )	国民の基本的 権利の <u>持続・充実</u> (災害時・パンデミック時)

# 権利のストック効果計量へのヒント

宇沢弘文：自動車の社会的費用 年間200万円／年



運転自動運転, MaaSの価値は計測可能?

# 権利のストック効果の計量への応用

- (1) 私たちが満たすべき基本的権利(機能)を明確化
- (2) それを完全に達成するために必要な施策と費用
- (3) それ以外の手法(公共事業)の費用を概算
- (4) そこから、ストック効果(費用逡減)の計測

## 権利のストック効果の計量への応用

- (1) 私たちが満たすべき基本的権利(機能)を明確化  
歩行者は安全に通行できる
- (2) それを完全に達成するために必要な施策と費用  
安全な歩道を整備する (年間1台200万円)
- (3) それ以外の手法(公共事業)の費用を概算  
自動運転技術の総費用は〇〇億円
- (4) そこから、ストック効果(費用逡減)の計測  
よりよい施策は・・・そして、その金銭価値は・・・

自然は大陸から半島へ，半島からさらに島国へと移っている．旅する者は誰でも気づくであろうが，山は穏やかであり河は静かに流れ，気候は温かく空気は湿り，木は緑に滴り花は色を競っている．しかも海は国を守り，歴史は外から乱されず，人は悦び心は楽しんでいゝる．この国においてほど美に楽しむ心の余裕を有った民族はないであろう．

「茶と美」 柳宗悦